



東北農政局
阿武隈土地改良
調査管理事務所

阿武隈だより

A b u k u m a D a y o r i

2023. 3 第49号



今年度応急対策事業が完了した名取川頭首工

menu

- 土地改良区理事長訪問 <母畑地区土地改良区>
<名取土地改良区>
- 阿武調情報
 - 国営施設応急対策事業「名取川地区」の完了 ~次の30年間の供用のために~
 - 国営施設応急対策事業「角田地区」の実施状況
 - 国営施設応急対策事業「母畑地区」「雄国山麓地区」の実施状況
 - 地域整備方向検討調査「角田二期地域」「隈戸川二期地域」「会津宮川二期地域」
 - 羽鳥ダム通信
- 地域情報
 - 活躍している営農・販売団体のご紹介
<福島県農業賞 農業経営改善部門 農林水産大臣賞を受賞 株式会社 若宮ばくさく>
- お知らせ
 - 阿武隈土地改良調査管理事務所の組織体制

農林水産省

土地改良区理事長訪問

母畑地区土地改良区

理事長 しお た くに へい
塩 田 邦 平



◇プロフィール◇

- 生年月日 昭和28年3月18日
- 出身地 福島県須賀川市
- 略 歴 須賀川市市議会議員就任 平成15年4月30日
須賀川市市議会議員退任 平成27年9月3日
土地改良区理事 平成29年4月14日～
土地改良区理事長 令和4年11月1日～
- 趣 味 ゴルフ・映画鑑賞

<座右の銘> 「誠 意」

日頃より、母畑地区土地改良区の事業運営に多大なるご支援・ご協力を賜り深く感謝申し上げます。また、昭和62年～本年7月5日まで35年の長きにわたり、土地改良区の円滑なる事業運営のために、全身全霊を賭け邁進してきた故車田前理事長に対し、関係皆様がこれまでお寄せ頂きました、ご厚情に故人に成り代わり敬意と感謝を申し上げます。

当地区の基幹的な農業水利施設及び農業生産基盤を次世代に、継承して行かなければならない責務から令和3年度より国営施設応急対策事業に着手しております。本事業の事業化に向けてご尽力頂きました、多くの関係機関の皆様方へ前理事長共々心から御礼申し上げます。

◇前歴事業の概要

昭和初期、母畑地区の低位部は水田として利用されていましたが、その殆どの区画は狭小・不整形でした。また、用水は溪流や小ため池を中心とした脆弱な水利状況のため慢性的な水不足に見舞われていました。一方、高位部の一部は、畑地として利用されていましたが、多くは山林原野のまま放置されていました。

こうした中、昭和33年に福島県南部を襲った大旱魃を契機として水資源の開発と農地開発及び既耕地の整備に対する機運が高まり、千五沢ダムの新設並びに国営総合開拓パイロット（総合農地開発事業）が採択され昭和44年度に着工し、その後3回の計画変更を経て平成9年度に事業は完了しました。

◇国営施設応急対策事業及び福島県が補助事業を創設
当土地改良区は前歴事業完了後、土地改良施設の良好な維持管理に努めてきているものの、多くの施

設が造成後30年～40年以上経過し、施設の機能低下が生じており、農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、施設の維持管理に多大な費用と労力を要しており、これらが軽減される新たな補助事業を検討せざるを得ない状況となっております。

しかしながら、本地区の受益農家は、原発事故による実害と風評被害に加え、農産物価格とりわけ基幹作物である米価下落が追討ちを掛け、農業収入は減少の一途にあり新たな負担を求めるのは、極めて厳しい状況下でありましたことから、平成26年度に国の補助を得て太陽光発電施設を整備し、その売電収入等を国営施設応急対策事業（幹線用水路等）の農家負担に充当すべく取組んできたものです。

また、幹線用水管路同様に支線・末端用水管路（石綿管約8,000m布設）も経年劣化により漏水が多発し、その改修（修繕）費が急増したことから、福島県に対し農家負担が軽減される国営施設維持管理適正化事業（県営：負担率12.5%）、（団体営：負担率23%）の創設を行って頂き、負担軽減に大きく寄与しているところです。さらに、石綿管改修事業については、県の協力を得て「特定農業用管路等特別対策事業：農家負担率5%」が令和5年度より着手することになりました。

これまで国営施設応急対策事業、石綿管改修事業（国営施設維持管理適正化事業の創設）の事業化へ向けにご尽力を下さいました関係機関の皆様方へ御礼申し上げます。

今後とも、財政状況等見極めながら、老朽化してきている土地改良施設の長寿命化を図るための計画的な改修に努めて参ります。

最後になりましたが、皆様方のご健勝と今後のご活躍をお祈りいたします。

土地改良区理事長訪問



名取土地改良区

理事長 **今野 慶一**

◇プロフィール◇

- 生年月日 昭和23年11月3日生まれ
- 出身地 宮城県名取市
- 略歴 平成17年4月～平成26年3月 名取岩沼農業協同組合理事
平成17年5月～平成21年5月 名取土地改良区 監事
平成21年5月～平成25年11月 名取土地改良区 理事
平成25年11月～平成29年5月 名取土地改良区 副理事長
平成29年5月～現在 名取土地改良区 理事長

●趣味 盆栽、読書
<座右の銘> 「至誠一貫」、「誠実な心一筋に」

日頃より、名取土地改良区の事業運営に多大なるご指導、ご支援を賜り深く感謝申し上げます。

本土地改良区は、宮城県の中央に位置し、仙南地方の穀倉、通称名取耕土と呼ばれ、その水源を名取川と白石川に依存し、名取市、岩沼市、仙台市に跨る約3,500haの都市近郊型農業地帯であります。

そもそも、この地域は、東北一を誇る雷神山古墳に象徴されるとおり古くから農耕文化の花開いた沃地でありながら沖積地特有の低湿地帯で排水不良と頻繁に発生する中小河川の氾濫が連年のように繰り返されておりました。

昭和28年、関係市町村からなる名取耕土排水改良期成同盟会を結成し、地域農業の近代化を図るべく、国営名取川農業水利事業の早期実現を関係機関に対し陳情請願を重ねた結果、昭和42年、待望の新規着工地区として採択されました。この国営事業の本格的工事着工を契機に、名取川水系の名取川土地改良区と白石川水系の名取郡稲荷山堰土地改良区がこの事業を円滑に推進し事業効果を高めるべく全役員からなる合併委員会を設置し昭和44年3月25日宮区第305号として名取土地改良区が発足し現在に至っております。

さて、平成23年3月11日午後2時46分、日本における観測史上最大のマグニチュード9.0を記録した大地震が、岩手県沖から茨城県沖までの南北約500km、東西約200kmの広範囲に及び、この地震により10m以上の大津波が発生し、太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらす、いわゆる東日本大震災が発生いたしました。

当地におきましても大津波は、海岸から5km離れた内陸部まで到達し、当改良区管内の約7割に相当する2,430haの優良農地が壊滅的な被害を受け、多く

の尊い命が一瞬にして奪われました。

復興事業は、津波あとの瓦礫の撤去から始まり、農地の除塩事業、揚水施設の復旧、排水機場の新設、排水路等の改修、1,600haを超えるほ場整備事業、水管理システムや太陽光発電所の新設といった多岐にわたる事業を展開していただきました。また、震災とは別に老朽化した名取川頭首工の改修のため、国営施設応急対策事業名取川地区を平成28年度から実施していただいております。この様に、様々な事業を展開していただき、ほ場整備事業を除く復興事業の多くは、平成29年度迄には完了し、ほ場整備事業と国営施設応急対策事業も今年度をもって完了の運びとなっております。

これまでの、皆様の並々ならぬご支援とご尽力により、基幹施設の新設やほ場の大区画化がなされ、震災前以上の状態へと生まれ変わりました。震災から12年の歳月が過ぎ、絶望の淵に立った我々を励まし、再び立ち上がる勇気を与えていただいた皆様に対し、この紙面をお借りいたしまして、心より御礼申し上げます。

現在、当地区では、震災を経験し、復興事業により整備されたほ場や施設のおかげで、農業の担い手不足、いわゆる後継者不足が叫ばれる中、幸いにも担い手農家や大規模な農業法人が管内各地域に芽生え活躍するまでとなりました。この光景を見ますと、偏に土地改良事業のお陰と大変感謝しております。そして、この地域の優良農地を次世代に継承していくため、整備していただいた施設の維持管理に役職員一丸となって取り組んでまいり所存であります。それが、皆様に対する恩返しになると心に決めて。

最後になりますが、皆様のご健勝と今後のご活躍をお祈りいたします。

阿武調情報

○国営施設応急対策事業「名取川地区」の完了 ～次の30年間の供用のために～

本地区は、宮城県のほぼ中央に位置し、仙台市、名取市及び岩沼市にまたがる2,653haの水田地帯です。

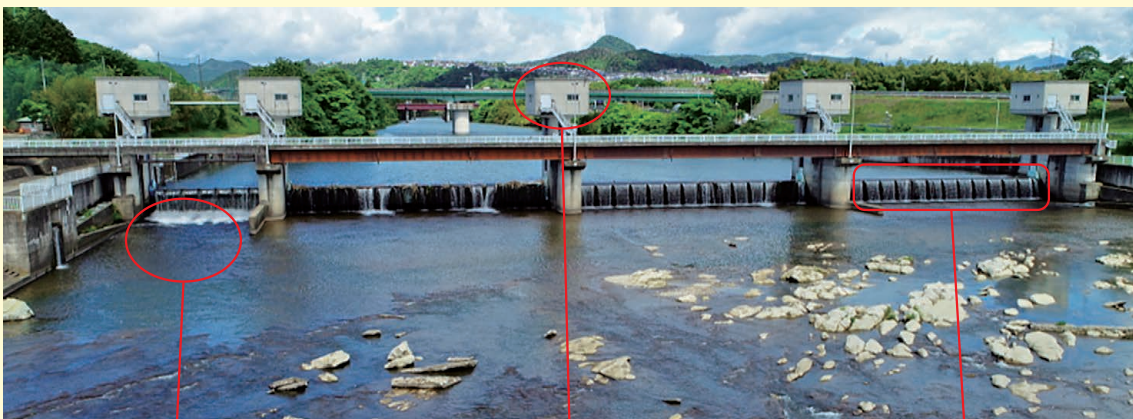
本地区の基幹的な農業水利施設である名取川頭首工は、国営名取川土地改良事業（昭和42年度～昭和60年度）により造成されましたが、電気設備の不具合やゲート開閉装置の故障によるゲート操作が不能となる不測の事態が発生し、また、躯体のひび割れや摩耗等による施設の性能低下も生じておりました。さらに、大規模地震により損壊した場合、地域に甚大な被害を及ぼすおそれがありました。

このため、本事業により、名取川頭首工の機能を保全するための整備と耐震化のための整備を一体的に行いました。

【名取川地区事業位置図】



改修概要



エプロンにはコンクリートパネルを設置



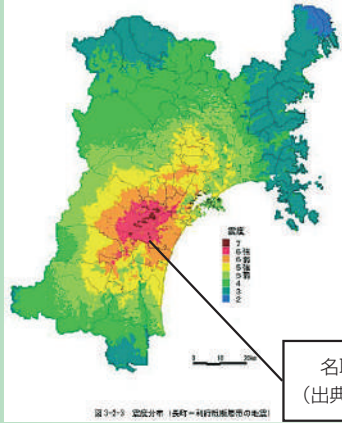
巻上機の更新



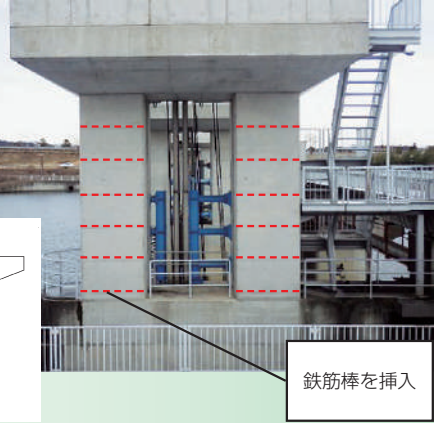
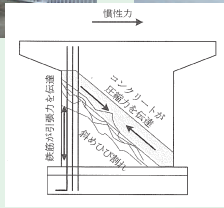
ゲートの塗装

○耐震化対策の実施

平成26年に創設された「国営耐震対策一体型かんがい排水事業」により、名取川頭首工の機能を保全するための整備と耐震化のための整備を一体的に行うことができ、レベル2地震動に耐える施設となりました。



右図：せん断破壊のイメージ図

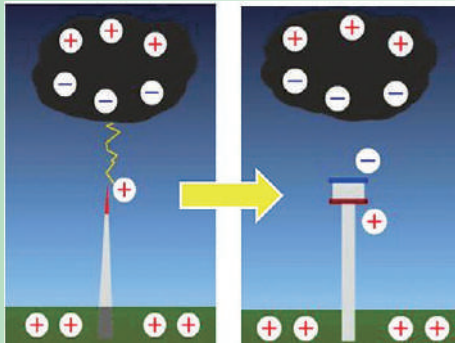


鉄筋棒を挿入

名取川頭首工地点震度6強
(出典：宮城県庁ホームページ)

○落雷対策の実施

これまでの電気設備の不具合は落雷が原因かは特定できませんが、周辺住民から落雷があったとの証言もあり、新たに抑制型の避雷針を設置しました。



従来の誘雷型（雷を呼び込むタイプ）から
今回は抑制型（雷を跳ね返すタイプ）を選択

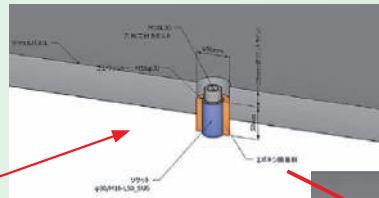


頭首工操作室屋上に設置した抑制型避雷針

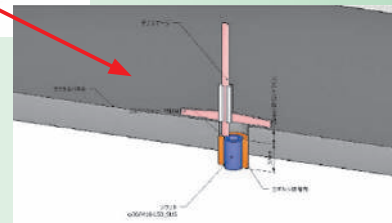


○コンクリート摩耗量調査の実施

前頁で紹介したエプロンパネルの材質は超高強度繊維で耐久性が期待できますが、継続的な摩耗量の測定により、次期改修の適時適切な工法選択が可能となります。



パネルに金属製ボルトを埋め込む



ゲージによりパネルの摩耗量を測定
(既に初期値は計測済み)

阿武調情報

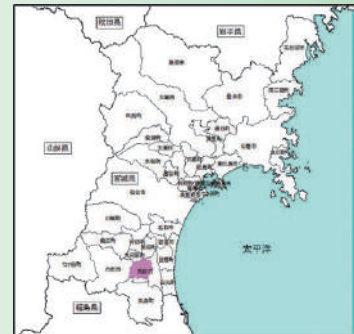
○国営施設応急対策事業「角田地区」の実施状況

角田地区は、宮城県南部に位置する角田市2,737haの農地を受益地としています。地区内では水稻を中心に、水田の畑利用による野菜、果樹等を組み合わせた農業経営が展開されており、近年はきゅうり、ねぎ等の高収益作物の栽培が盛んです。

本地区の基幹的な農業水利施設は、国営角田土地改良事業（昭和59年度～平成7年度）により造成されましたが、江尻排水機場は電気設備の故障を起因とした主ポンプの緊急停止により受益地内に湛水被害が発生するとともに、コンクリート構造物のひび割れや摩耗、除塵機設備の故障等による施設の著しい性能低下が生じています。更に、大規模地震が発生した場合には、施設が破損し豪雨時に運転できないなど地域に甚大な被害を及ぼすおそれがあります。

このため、本事業では、施設機能の保全と耐震化のための整備を一体的に行うことにより、施設の維持管理の費用と労力の軽減及び施設の長寿命化を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定を目指します。

- 関係市：宮城県角田市
- 受益面積：水田 2,194ha 畑ほか 543ha
- 予定工期：令和元年度～令和8年度（8年間）
- 事業費：59億円（H29年度時点）
- 主要工事：江尻排水機場



角田地区事業位置図

【工事計画】

令和4年度の新規工事は、

- ①江尻排水機場ポンプ設備補修工事
(2号・4号ポンプ、4箇年国債)
- ②江尻排水機場第1制水門ゲート設備改修工事
- ③江尻排水機場仮棧橋設置
(その2) 工事

令和3年度からの継続工事は、

- ④江尻排水機場除塵設備製作据付工事
(3箇年国債の2年目)

を実施しており、令和5年度以降は、第2制水門の改修工事、制水門耐震補強工事及び1号・3号ポンプの補修工事等を順次進める予定です。



①江尻排水機場ポンプ設備補修工事



②江尻排水機場第1制水門ゲート設備改修工事



③江尻排水機場仮棧橋設置（その2）工事



④江尻排水機場除塵設備製作据付工事

阿武調情報

○国営施設応急対策事業「母畑地区」の実施状況

【目的】

母畑地区は、郡山市、白河市、須賀川市、西白河郡中島村、石川郡石川町及び同郡玉川村にまたがる1,965haの農業地帯で、稲作を中心に野菜や果樹等を組み合わせた農業経営が展開されており、きゅうり、トマト、スイートコーンなどの高収益作物の導入による産地収益力向上に取り組んでいます。

本地区の基幹的な農業水利施設は、国営母畑土地改良事業（昭和42年度～平成9年度）により造成され、老朽化が進み機能の低下から農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、施設の維持管理に費用と多大な労力を要していることから、令和3年度より千五沢ダム取水施設及び幹線水路を改修する国営施設応急対策事業を実施しています。

【概要】

関係市町村	福島県郡山市、白河市、須賀川市 中島村、石川町、玉川村		
実施期間	令和3年度～令和9年度（予定）		
受益面積	1,965ha		
総事業費	3,500百万円		
主要工事	ダム（改修）	1ヶ所	
	幹線水路（改修）	17.5km	

【令和4年度の工事実施状況】

- 南幹線水路の管水路継手部の改修工事を実施。



止水バンドの設置

- 南北調整池の流量計と水位計の改修工事を実施。



流量計盤

水位計盤

【位置図】



○国営施設応急対策事業「雄国山麓地区」の実施状況

【目的】

雄国山麓地区は、福島県喜多方市に位置する542haの農業地帯で、水稻を中心にそば、アスパラガス、リンゴ等を組み合わせた農業経営が展開されています。

本地区の基幹的な農業水利施設は、国営雄国山麓土地改良事業（昭和45年度～平成4年度）により造成され、老朽化が進み機能の低下から農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、施設の維持管理に費用と多大な労力を要していることから、令和3年度より大深沢調整池、揚水機場及び幹線水路を改修する国営施設応急対策事業を実施しています。

【概要】

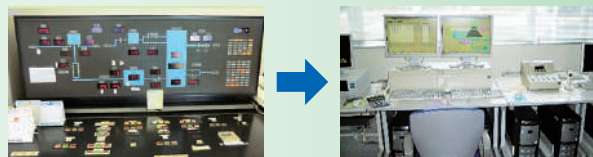
関係市	福島県喜多方市		
実施期間	令和3年度～令和8年度（予定）		
受益面積	542ha		
総事業費	1,900百万円		
主要工事	調整池（改修）	1ヶ所	
	揚水機場（改修）	1ヶ所	
	幹線水路（改修）	3.0km	
	水管理施設（改修）	1式	

【令和4年度の工事実施状況】

- 大深沢調整池管理事務所の屋根防水改修工事を実施。



- 水管理施設改修工事を実施中。



現況

イメージ

【位置図】



阿武調情報

○地域整備方向検討調査

地域整備方向検討調査は国営事業の実施が見込まれる地域において、農業振興や農業水利施設の補修・更新等に係る課題を把握し農業基盤の整備構想を策定する調査です。

(政策目標)

- 産地収益力の向上及び担い手の体質強化
- 老朽化や災害リスクに対応した農業水利施設の戦略的な保全管理と機能強化

阿武調管内の実施状況

角田二期地域 (R5年度実施)

関係市町：宮城県角田市、伊具郡丸森町（1市1町）
受益面積：水田 3,141ha
事業構想：国営総合農地防災事業（豪雨災害対策型）

角田二期地域は、宮城県の南部に位置し、阿武隈川左岸に展開する3,141haの農業地帯です。

本地区の基幹施設である江尻排水機場は、国営施設応急対策事業にて改修工事を実施していますが、令和元年東日本台風の際は、江尻排水機場等をフル稼働したものの、地区の農地と土地改良施設（用排水機場、用排水路、ため池）が多数被災し、農業被害額は26億円に達しました。また、市街地等にも甚大な被害が発生しました。

このため本調査では、近年の豪雨被害に対応した排水計画の見直しによる排水システムの再編と排水機場の統廃合を行い、併せて関連事業において排水施設を整備することにより、排水機能を増強し、湛水被害を未然に防止するとともに維持管理の労力の軽減を図り、農業生産性の維持と農業経営の安定化のための整備構想を策定します。



令和元年東日本台風（台風19号）
江尻排水機場周辺湛水状況

隈戸川二期地域 (R4～7年度実施)

関係市町村：福島県白河市、須賀川市、岩瀬郡鏡石町、天栄村、西白河郡泉崎村、中島村、矢吹町（2市2町3村）
受益面積：水田 3,215ha（調査中）
事業構想：検討中

隈戸川二期地域は、福島県の中通りの南部、阿武隈川の左岸に位置する水田農業地帯です。

本地区の基幹的な農業水利施設は、国営大規模開墾事業「白河矢吹地区」（昭和16年度～昭和39年度）により造成され、その後、国営かんがい排水事業「隈戸川地区」（平成4年度～平成24年度）により更新されたが、幹線用水路の漏水など不測の事態が頻発しています。また、近年（平成25年度以降）の気候変動による用水不足や地区内の非効率な水利用等が課題となっています。

このことから、本調査では、施設の老朽化対策、不安定な用水供給となっている原因を究明するとともに、高度な需給調整の実現や非効率な水利慣行を打破する用水システム再編について検討しています。



羽鳥ダム取水設備経年劣化の進行

会津宮川二期地域 (R4～6年度実施)

関係市町：福島県大沼郡会津美里町、河沼郡会津坂下町（2町）
受益面積：水田 4,355ha
事業構想：国営かんがい排水事業

会津宮川二期地域は、福島県の会津地域の西部に位置する農業地帯です。本地区の基幹的な農業水利施設である頭首工、幹線用水路は、国営会津宮川土地改良事業（S55～H5年度）、新宮川ダムは、国営会津宮川（二期）土地改良事業（H2～H16年度）により造成され、施設の老朽化等により、農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、近年、河川流量等の減少により番水を行うなど、不安定な用水供給から維持管理に苦慮している状況です。

このため、本調査では、施設の老朽化対策、用水不足を解消するため、地区内の用水再編を行い、農業用水の安定供給及び維持管理に要する労力の軽減を図るため、整備構想を検討しています。



新宮川ダム

阿武調情報

○羽鳥ダム通信

令和4年9月29日に羽鳥ダムで羽鳥疏水施設見学会を開催しました。

羽鳥ダム疏水の施設（羽鳥ダム）を見学して、ダム用水の働きや仕組みを理解してもらうことを目的に、矢吹町立矢吹小学校の4年生児童26名を対象に開催しました。

児童からは「なぜ水道水やスーパーでも水を売っているのに、ダムから水が必要なんですか。」「矢吹町まで水が届くまで何日位かかりますか」等の質問があり土地改良区職員のフォローもあって無事に見学会を終えることができました。

当日は、羽鳥ダム管理橋補修工事の受注者の交通誘導のご協力もあり、安全に児童を誘導して頂き感謝しております。



説明状況



質問コーナー

地域情報

○活躍している営農・販売団体のご紹介

福島県農業賞 農業経営改善部門 農林水産大臣賞を受賞 株式会社 若宮ばくさく

福島県会津坂下町の株式会社若宮ばくさくが、第63回福島県農業賞 農業経営改善部門^{※1}の最高賞である農林水産大臣賞を受賞されましたので、その御活躍を紹介します。

社長の内海氏は、国営かんがい排水事業「会津宮川地区」^{※2}の受益者です。

株若宮ばくさくは、昭和62年に前身の若宮麦生産組合を発足後、平成19年に法人化し、現在の体制となりました。社長を含む従業員5名と短期雇用で主に水稻、そばを生産しており、農作業受託を含めて約80haの大規模経営を実践しています。水稻の複数品種の導入による作期の分散化、ドローンを活用した施肥などの栽培管理、収穫時には場毎の米の収量やたんぱく含量を測定・データ化したICTによる水田のほ場管理など、スマート農業による省力化・効率化により大規模の経営面積を実現するとともに、冬期間の収入源としてアスパラガスの生産にも取り組んでいます。

また、環境に配慮した持続可能な農業の取組として除草剤の削減のため除草シートの使用や、そば製粉で発生する副産物を使ったペレットを肥料にした特別栽培米の生産等を実践しています。

6次産業化の取組として、自社そば粉を使用した手打ちそばやそばせんべい等を生産、加工、販売しています。そば焼酎「福島の風 出会い」は、福島大学・産学連携共同研究、開発に参画したものです。

地域の農業後継者育成に向けて、会津農林高校や地元小学生等の研修や体験農業を積極的に受け入れ、首都圏や道の駅でのイベントを通じて会津坂下町の特産品である米やそばの魅力を全国に発信するなど、幅広い活動を展開しています。



表彰式の様子（若宮ばくさくのみなさん）



そばペレット特別栽培米



そば焼酎「福島の風」



そばせんべい

(株)若宮ばくさくHP
<https://w-bakusaku.com>

※写真は、(株)若宮ばくさくHPより

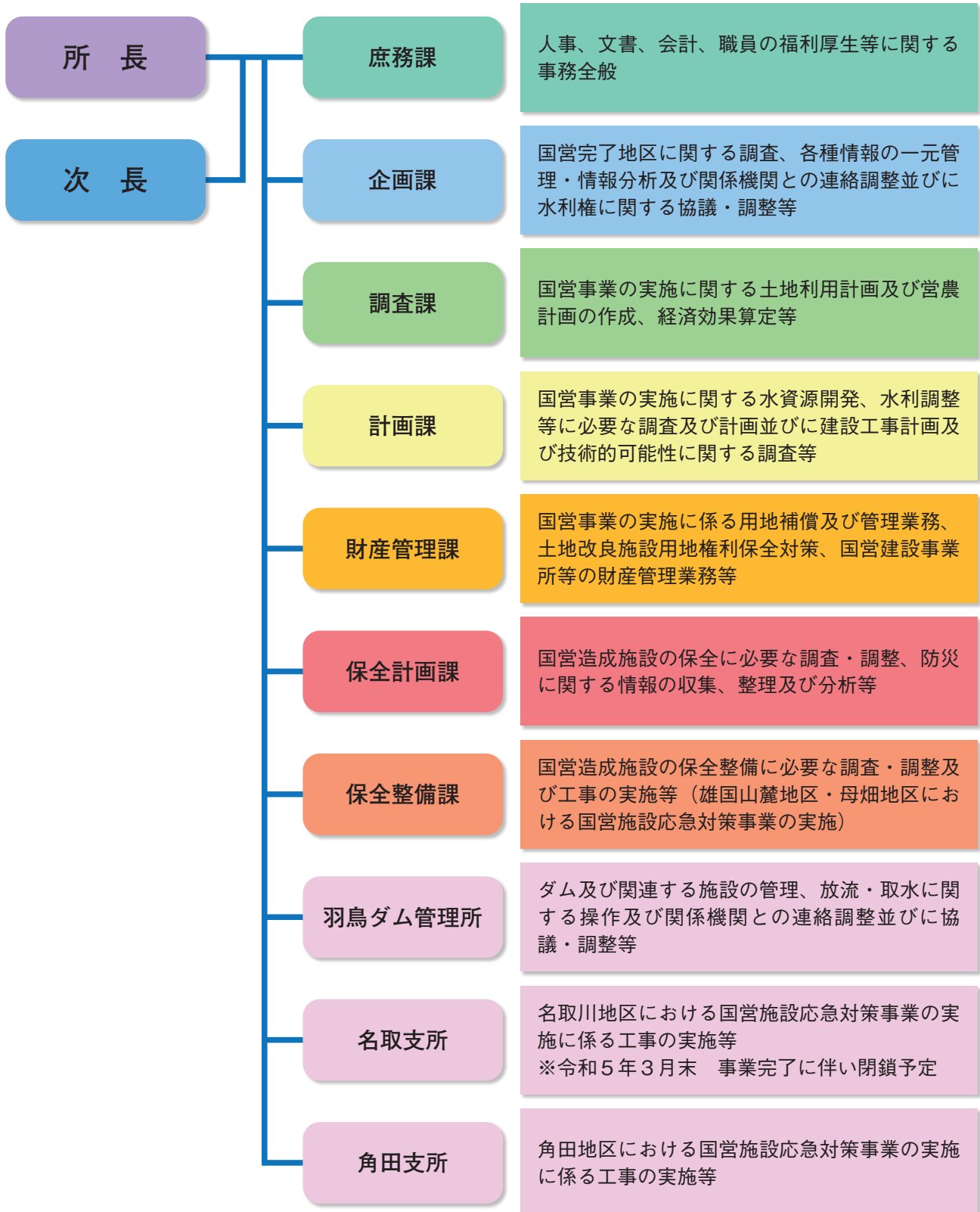
※1 福島県農業の復興・発展のため優れた業績をあげていると認められ、かつ、生産性が高く経営の安定性・発展性が見込まれ、特に農業経営の改善が顕著である個別経営体（法人を除く）及び農業法人に贈られる部門。

※2 福島県の会津盆地の西部に位置し会津坂下町、会津美里町（旧会津高田町、会津本郷町、新鶴村）の2町にまたがる、約4,400haの地区です。新宮川ダムの築造、宮川頭首工、佐賀瀬頭首工の新設、高橋頭首工の改修を行うことによりかんがい用水の安定供給と維持管理の軽減を図ることを目的に、昭和55年から平成16年度まで事業を実施しました。

お知らせ

○阿武隈土地改良調査管理事務所の組織体制

令和4年4月1日現在



編集後記

- ◇紙面作成にあたり、母畑地区土地改良区の塩田理事長、名取土地改良区の今野理事長におかれましては、ご協力いただき大変ありがとうございました。
- ◇今後も皆さまのご協力をいただきながら農業農村の持続的な発展に尽くしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

所在地・連絡先

阿武隈土地改良調査管理事務所



〒960-0241 福島県福島市笹谷字稲場38-7
TEL 024-555-3780 FAX 024-555-3783

羽鳥ダム管理所



〒962-0623 福島県岩瀬郡天栄村大字羽鳥字水上5-1
TEL 0248-84-2211 FAX 0248-84-2702

角田支所



〒981-1505 宮城県角田市角田字中島下458
(あぶくま川水系角田地区土地改良区2階)
TEL 0224-86-5150 FAX 0224-62-5088

名取支所 (令和5年3月末閉鎖予定)



〒981-1226 宮城県名取市植松字錦田84-1
(名取土地改良区2階)
TEL 022-381-6733 FAX 022-381-6734



咲かそう！笑顔のむらづくり

私たちが住む里は、いつまでも美しくたくましく人々とともに息づいて欲しいとの願いをシンボルマークに託しました。さんさんと輝く太陽のイメージは、希望と優しさ、そして実り豊かな大地のカタチを表しています。太陽の中には笑顔を配し、美しく豊かな自然に生きる人々をシンボライズしています。

編集
発行

阿武隈だより 第49号 令和5年3月 発行
東北農政局 阿武隈土地改良調査管理事務所 URL <https://www.maff.go.jp/tohoku/nouson/kokuei/abukuma/>



食べて応援しよう!

被災地を応援

農林水産省



食材王国みやぎ

検索

食べて応援しよう

検索

このパンフレットは環境に優しい再生紙を使用しています。